

那覇第2貯油施設（与儀タンクファーム）（那覇市）

- 1 基地名：那覇第2貯油施設
- 2 所在地：那覇市古波蔵、与儀、国場
- 3 返還面積：196千㎡

4 主な沿革

- ・昭和27年：石油オイルの貯蔵所として強制接收
- ・昭和47年：196千㎡が全部返還

5 接收の経緯

この地域は、那覇市東南部の住宅地域に隣接し、戦前から都市近郊農業が盛んに行われていた。しかし、米軍基地の拡張とその恒久化が図られていく中で、昭和27年、那覇港湾施設から嘉手納飛行場までの航空燃料の中継及び石油オイル貯蔵所として強制接收され、返還時まで貯蔵タンクが設置されていた。

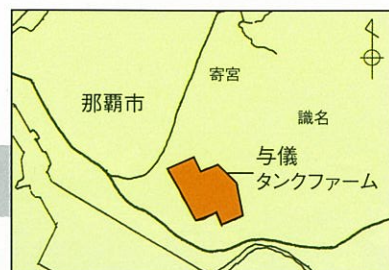
6 返還の経緯

本土復帰前日の昭和47年5月14日に196千㎡が返還され、全部返還となった。

7 現在の土地利用状況

返還跡地は、与儀地区土地区画整理事業が実施され、主に住宅用地として利用されている。

- ※与儀地区土地区画整理事業：施行年度(昭和48年～平成9年)
- 区域決定[告示日](昭和48年3月1日)
- 換地処分[公告日](平成3年5月2日)
- 事業面積(38.8ha)
- 総事業費(4,425百万円)
- 施行者(市)



返還前



昭和43年1月(写真提供:沖縄タイムス)

返還後



平成20年5月(写真提供:沖縄タイムス)